学校給食(提供食)の放射性物質検査の結果について

検査方法

・学校給食で実際に児童生徒に提供した給食1食分を1週間ごとまとめて測定する。

・検体は毎日、小学校A1・中学校Aから採取を基本とする。

検査結果

＜小学校＞

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和8年11月2日～11月6日 (4日分)	2.60	11月6日	不検出 (＜0.53)	不検出 (＜0.62)

小学校A1　献立名

11月2日	ごはん	牛乳	白菜のスープ、シューマイ、麻婆春雨
11月4日	わかめごはん	牛乳	豚汁、チーズチキン大葉巻き、ナムル
11月5日	ごはん	牛乳	じゃがいものみそ汁、豆腐ハンバーグ、ごぼうサラダ
11月6日	ごはん	牛乳	マーラータン、ショウロンポウ、八宝菜

＜中学校＞

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和8年11月2日～11月6日 (4日分)	2.70	11月6日	不検出 (＜0.66)	不検出 (＜0.60)

中学校A　献立名

11月2日	菜めし	牛乳	ワンタンスープ、チーズチキン大葉巻き、海草サラダ
11月4日	ごはん	牛乳	かきたまみそ汁、豆腐ハンバーグ、野菜の塩昆布あえ
11月5日	ごはん	牛乳	のっぺい汁、さばごまみりん焼き、ひじきの炒め煮
11月6日	市産小麦食パン		コーンスープ、あぶり焼きチキン、マカロニナポリタン

1　検査結果の(　　)内は検出下限値です。

2　「不検出」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示します。

3　「検出下限値」とは、検査機器で測定できる最小の値のことです。
　なお、検出下限は検体の種類や重量などの影響をうけるため、測定ごとに異なります。

4　検査を依頼している機関は山形県理化学分析センターです。

5　ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法です。

6　食材内容については、「学校給食用食材の産地情報」で公開しています。

【参考】 厚生労働省:24年4月からの放射性物質の新基準値 (単位　Bq/kg)

放射性セシウム	一般食品	100
	飲料水	10
	牛乳	50
	乳児用食品	50